

視聴覚功労者



中山雅弘さん（東川登町在住）は、視聴覚教育の普及を推進するとともに、視聴覚教材の制作・普及や視聴覚機器の利用促進に尽力するなど、視聴覚教育の振興に貢献されたということで、「平成18年度視聴覚教育功労者表彰」を受賞されました。

今年は全国で34名が受賞。授賞式は東京都で9月22日に行われ、文部科学大臣より表彰状が贈られました。受賞おめでとうございます

<功績>

昭和31年から、地域の子ども会や老人クラブを対象に映画会を年5回程度開催し続けている。

平成5年からは、ビデオの自主制作に取り組み、現在までに郷土を題材にしたビデオを21本製作している。

さらに、平成8年からは子どもからお年寄りまで地域のすべての住民を対象にした「大山路谷映画祭」を開催し、視聴覚教育の推進のみならず、視聴覚教育を中心にした地域づくりにも大いに貢献されている。

平成18年度 総務大臣表彰



中山 利光 さん(武雄)

受賞おめでとうございます。

中山さんは、平成3年に行政相談委員の委嘱を受け、住民の身近な相談相手として、国や県・市に対する苦情や要望・意見を受け付け、助言や関係行政機関に対する通知等を行ってこられました。委員として15年と9ヶ月を迎えられ、佐賀県下では中山委員お一人が受賞されました。

表彰式は、10月11日（水）東京都において執り行われました。

バドミントン

9月16～17日に全国ろうあ者（聴覚障害者）体育大会が栃木県で開催されました。

バドミントンでダブルス2部に武雄市の平原圭介さんと小城市の永石泰寛さんのペアで出場され決勝で惜しくも北海道のチームに負けましたが、準優勝に輝きました。

